安全にお使いいただくために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

⚠ 危険　人が死亡または重傷を負うおそれが大きい内容を示しています。
⚠ 警告　人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意　人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
⃠ してはいけないことを表しています。
❗ しなければならないことを表しています。

⚠ 危険

本製品を修理・分解・改造しない
火災や感電、やけど、故障の原因となります。

⚠ 警告

雷が鳴り出したら、本製品や AC アダプターには触れない
感電の原因になります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使用しない
火災・感電の原因となります。
- 雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かない。

電池を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等の近くでは使用しない
電波によりペースメーカー等の動作に影響を与える恐れがあります。

故障や異常のまま、通電しない
本製品に故障や異常がある場合は、コンセントから AC アダプターを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

AC アダプターについては、以下のことにご注意ください。
火災・感電の原因となります。
- AC アダプターは、添付品または指定品のもの以外を使用しないでください。
- AC アダプターのコードや AC アダプターに重い物を載せたり、衝撃を与えない。
- AC アダプターを布や布団などで覆ったり包んだり上に置いたりしない。
- 交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない。
- AC アダプターのコードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない。
- AC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らない。
- ぬれた手で AC アダプターのコード、コンセントに触れたり、AC アダプターを抜き差ししない。
- AC アダプターのコードが傷んだら使用しない。
- AC アダプターはゆるみのあるコンセントに接続しない。
- AC アダプターをコンセントに差し込むときは、金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込む。
- AC アダプターに、ホコリや異物が付着しているときは、AC アダプターを抜いて乾いた布で取り除く。

電池について、以下のことに注意する
液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。
- 指定の電池以外は使わないでください。
- 火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない。
- 電池はプラス(＋)とマイナス(－)の向きに注意し、機器の表示通りに正しく入れる。
- 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
- 電池を使い切ったときや、長時間使わないときは取り出してください。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない
- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師と相談してください。

電池の保存のしかた
- プラス（＋）とマイナス（－）の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所及び湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

電池の廃棄のしかた
- プラス（＋）とマイナス（－）をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

⚠ 注意

ものを置いたり、上に乗ったりしない
破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがあるので注意する
長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。特に肌の弱い方はご注意ください。

本機の通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。本機は、電源コンセントの近くに設置し、AC アダプターへ容易に手が届くようにしてください。
- 本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。

AC アダプターについては、以下のことにご注意ください。
破損し、ケガの原因となります。
- 人が通行するような場所に配線しないでください。足を引っ掛けるとケガの原因になります。

お手入れのときや長時間使用しないときは、AC アダプターを抜く

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください。

直射日光・熱気のある場所でのご使用は避けてください。

煙がでたり変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止する
コンセントから AC アダプターを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

免責事項

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

●電波に関する使用上のご注意
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵しています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵していますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解／改造すること
  - 内蔵している無線 LAN モジュールに貼ってある証明レーベルをはがすこと
- **本製品は、次の場所で使用しないでください。ノイズが出たり、送信／受信ができなくなる場合があります。**
  本機と同じ周波数帯（5GHz）を利用する無線通信機器である無線 LAN 等、または電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波障害の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、お客様相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波障害の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

IEEE802.11a/n			
J52	W52	W53	W56

- W52（5.2GHz帯　36、40、44、48ch）が利用できます。
- W53（5.3GHz帯　52、56、60、64ch）が利用できます。
- W56（5.6GHz帯　100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）が利用できます。

※ W52 ／ W53 は、電波法により屋外での使用が禁止されています。

●個人情報（セキュリティー関連）に関する使用上の注意事項について
- 無線 LAN 機器をご利用の場合は、暗号設定の有無に関わらず、電波を使用している関係上、傍受される可能性があります。
- 無線接続設定時に利用権限がない機器およびネットワークとの接続をしないでください。

●その他
- 一般的な無線 LAN 機器として、ご家庭宅内でお使いください。
  - 機密を要する重要な通信や、人命に関わる通信など、重要な通信には使用しないでください。
  - **高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない**
    - 電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。
      ご注意いただきたい電子機器の例
      補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など
  - **航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しない**
    - 電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。医療機関の指示に従ってください。
- すべての住宅環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。次のような場合は、電波が届かなくなったり、電波が途切れたり通信速度が遅くなることがあります。
  - コンクリート、鉄筋、金属が使われている建造物での利用
  - 障害物の近くへの設置
  - 同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉
  - 電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ

W53、W56 を使用する場合は、法令により次のような制限があります。
- 各チャンネルの通信開始前に、1 分間レーダー波を検出します。その間は通信できません。動作中にレーダー波を検出した場合、10 秒以内にチャンネルを変えます。チャンネルを変えるために通信が途切れます。

SHARP®

取扱説明書

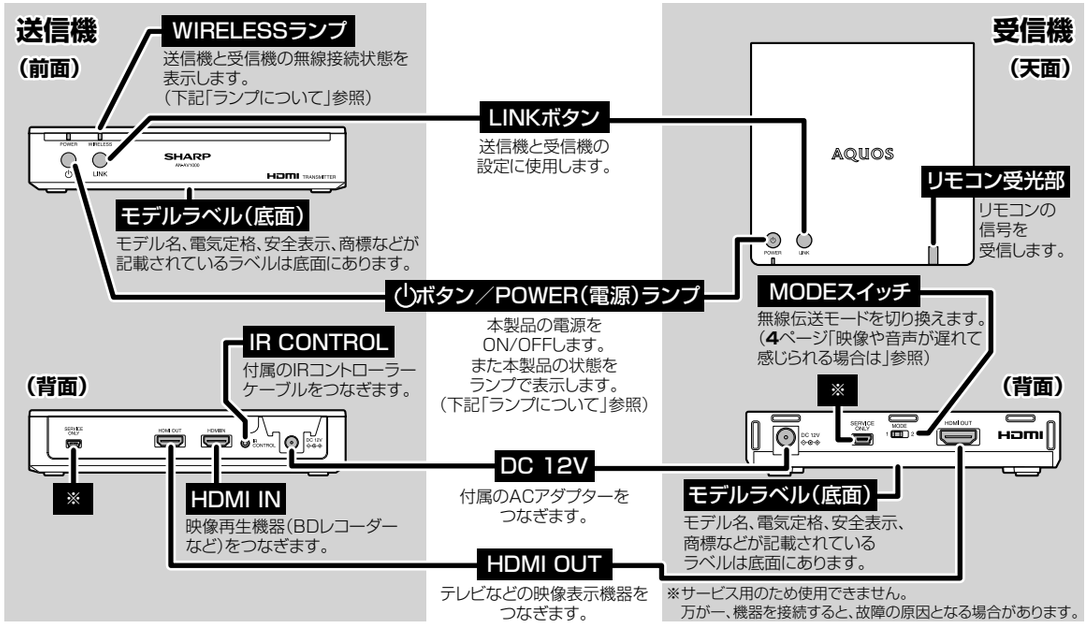
ワイヤレス伝送ユニット

形名 エイ エヌ　エイブイ **AN-AV1000**

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
●この取扱説明書は、いつでも見ることができるところに必ず保存してください。

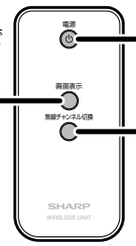
HDMI® HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

1 各部のなまえ



リモコン

リモコンは、受信機で使用します。



画面表示ボタン
受信機側に接続したテレビの画面に、本機の状態を表示／非表示します。

電源ボタン
本製品の電源をON/OFFします。

無線チャンネル切換ボタン
他の無線機器と電波が干渉する場合に使用します。（「本機の使いかた」参照）

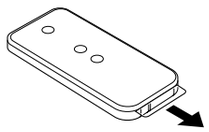
ランプについて

本製品の状態を表示します。

状態	POWER（電源）ランプ（送信機／受信機）	WIRELESS ランプ
電源 ON	緑点灯	
待機中	赤点灯	
電源 OFF	消灯	
無線接続設定中（ペアリング中）	緑点滅（1 回点滅の繰り返し）	
無線接続中		赤点灯

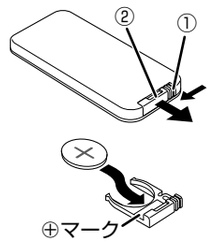
リモコンをご使用の前に

- リモコン下部のシートを手前に引っ張り、シートを取り除いてから、ご使用ください。



リモコンの電池交換のしかた

- ①部を左に押したまま、②を引き出してください。
- ボタン電池入れの⊕マークとボタン電池の⊕面を合わせて入れて、ボタン電池入れを元に戻してください。
- 電池は市販の「CR2025」をご使用ください。



準備　設置する前に付属品をお確かめください。

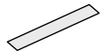
リモコン× 1

リモコン用ボタン電池
（リモコンに挿入済み）× 1

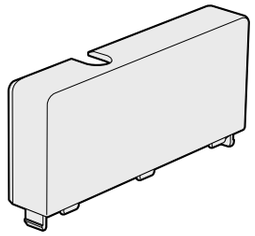
HDMI ケーブル× 1

IR コントローラーケーブル× 1

両面テープ× 1

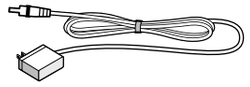


ケーブルカバー× 1



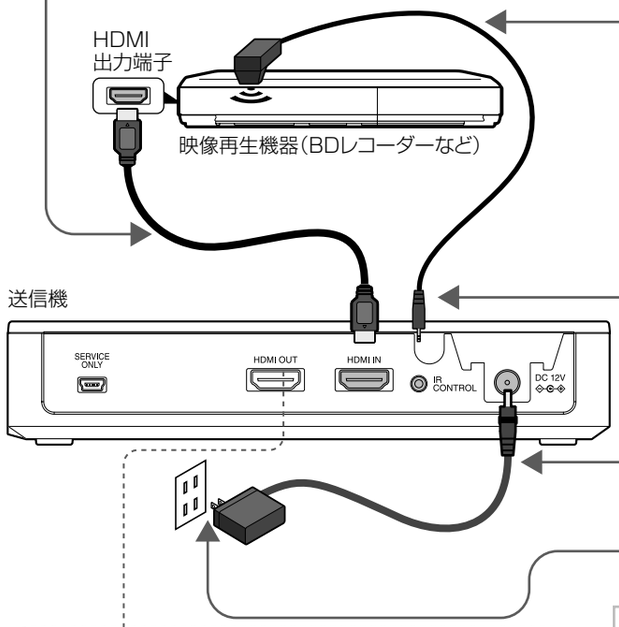
AC アダプター 黒（送信機用）× 1

AC アダプター 白（受信機用）× 1



壁掛け用ゴム足× 4

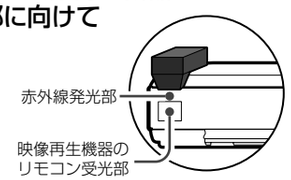
2 送信機を設置する



1 市販の HDMI ケーブルを使って、
HDMI IN 端子と映像再生機器をつなぐ

2 付属の IR コントローラーケーブルの
赤外線発光部を、映像再生機器の
リモコン受光部に向けて
設置する

- 必要に応じて付属の両面テープで固定してください。



3 IR CONTROL 端子に、
IR コントローラーケーブルを挿し込む

4 AC アダプター黒（送信機用）を、
送信機の DC12V 端子につなぐ

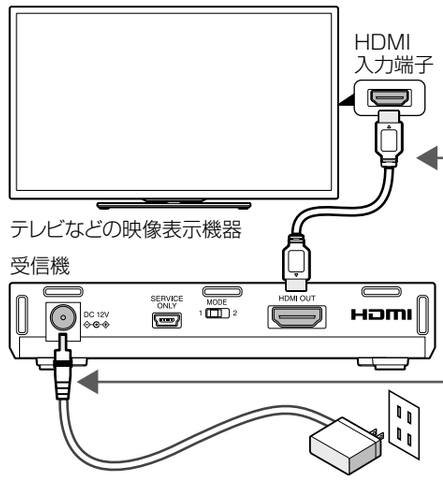
5 AC アダプター黒（送信機用）を、
電源コンセントに差し込む

- 市販のHDMIケーブルを使って、HDMI OUT端子とテレビなどの映像表示機器をつなぐと、受信機側のテレビと同一の映像をご覧いただけます。
- 送信機／受信機側のテレビの電源を入れたり、入力切換をしたときに映像が一時的に消える場合があります。

ご注意

- IR コントローラーケーブルの赤外線発光部を他の機器に向けないようにご注意ください。IR コントローラーケーブルの赤外線発光部が映像再生機器のリモコン受光部に向いていないと、他の機器（ストーブなど）が反応してしまう場合があります。

3 受信機を設置する



1 付属の HDMI ケーブルを使って、
HDMI OUT 端子とテレビなどの
映像表示機器をつなぐ

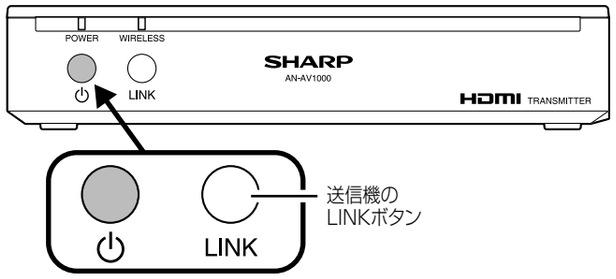
2 AC アダプター白（受信機用）を、
受信機の DC12V 端子につなぐ

3 AC アダプター白（受信機用）を、
電源コンセントに差し込む

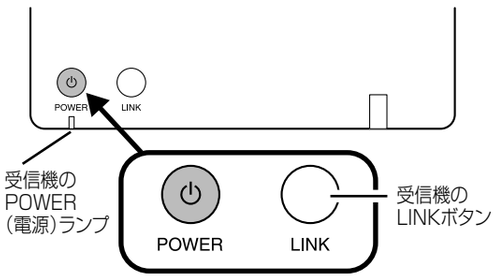
4 送信機／受信機の接続設定（ペアリング）をする

1 送信機前面・受信機天面それぞれの ⏻（電源）ボタンを押し、
電源を入れる

送信機（前面）



受信機（天面）



2 送信機前面・受信機天面それぞれの LINK ボタンを
3秒以上押し、1 対 1 の接続（ペアリング）をする

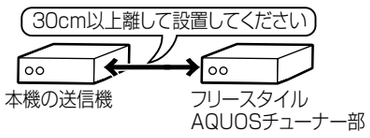
- **送信機／受信機のPOWER（電源）ランプが緑色で点滅し、接続設定（ペアリング）の準備中になります。点滅が終了し、緑色で点灯すると、設定（ペアリング）が完了です。**
- 設定が完了したら、送信機側の映像再生機器（BDレコーダーなど）と受信機側のテレビの電源を入れ、画面が出ることを確認してください。
- POWER（電源）ランプが赤と緑色の点滅の場合、設定をやり直してください。

お知らせ

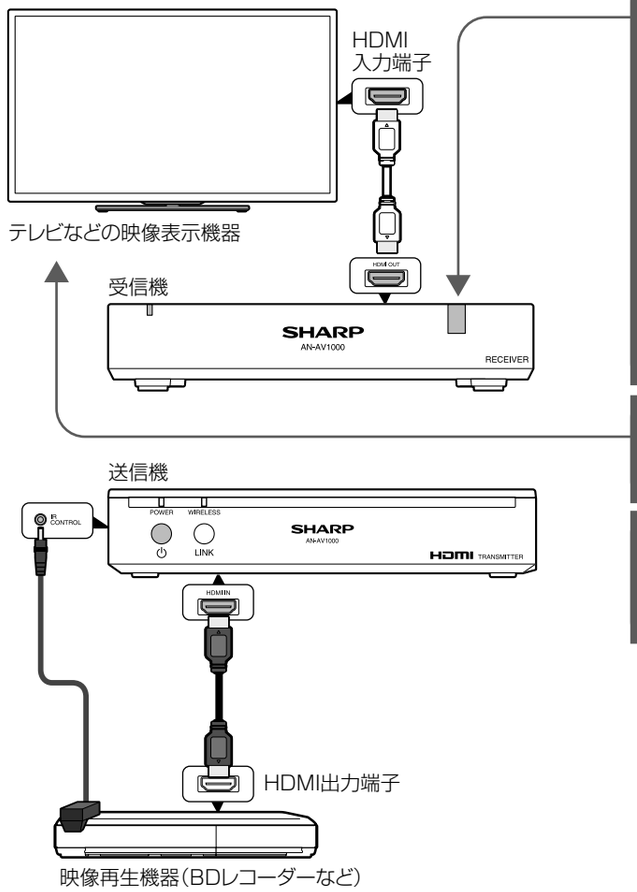
- 本機は送信機と受信機を 1 対 1 でご利用いただけます。
- 他の無線機器と電波干渉する場合がありますので、他の無線機器と離して設置してください。
- 本機は送信機と受信機をワイヤレスで接続します。電波に関する使用上の注意事項をご覧いただき、正しくお使いください。（詳しくは⇒ **8** ページ）
- ファミリンクなどの CEC 機能（HDMI ケーブルを介して機器間を制御する連携機能）は、送信機側に HDMI ケーブルで接続したテレビではご利用できません。
- DVI-HDMI 変換ケーブルを使用した場合、正常にご利用いただけない場合があります。
- 送信機と受信機の両方にテレビを接続した場合、どちらか一方が対応していない映像フォーマットはご利用できなくなります。
- 本機は電波の状況や設置距離に応じて、表示する映像形式（圧縮率や解像度）を自動で調整します。（詳しくは⇒**7**ページ「？映像がぼやける（解像度が低い）」）

フリースタイル AQUOS と接続する場合

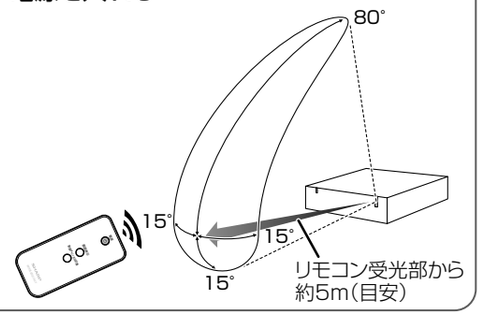
- **フリースタイル AQUOS のチューナー部と本機の送信機を重ねて設置しないでください。電波干渉して映像が映らなかったり、映像が乱れる場合や、本体が熱くなる場合があります。**
- **電波干渉して映像が映らなかったり、映像が乱れる場合は以下のことをお試しください。**
  - **チューナー部と送信機を 30cm 以上離して設置してください。**
  - **付属リモコンの無線チャンネル切換ボタンを 3 秒以上長押しして、無線チャンネルを切り換えてください。**
  - **本機を使わないとき（テレビ番組など HDMI 入力以外の映像を見るとき）は、付属のリモコンで本機の電源を切ってください。**



5 本機の使いかた



1 **付属のリモコンを受信機のリモコン受光部に向けて電源ボタンを押し、電源を入れる**



2 **受信機につなげたテレビなどの映像表示機器の電源を入れて、受信機をつないだ入力に切り換える**

3 **映像再生機器のリモコンや AQUOS のリモコンで再生などの操作をする**

- 下記「映像再生機器のリモコンを使いたいときは」「AQUOS のリモコンを使いたいときは」参照

◆ 映像や音声が遅れて感じられる場合は

- 受信機側の MODE スイッチで、無線伝送モードを切り換えることができます。

MODE
1 [ ] 2

MODE スイッチの位置	モードの説明
1	無線伝送の安定性を重視した標準的なモードです。(工場出荷時の設定です。)
2	すばやい反応を要求されるゲームやカラオケの音声が遅れて感じられる場合は、このモードをお使いください。ただし、安定性は「1」の方が優れています。

- 視聴中に MODE スイッチを切り換えると、再び映像が出るまで、最大約 2 分程度かかります。

◆ 映像再生機器（BD レコーダーなど）のリモコンを使いたいときは

- 送信機に付属の IR コントローラーケーブルを接続することで、映像再生機器（BD レコーダーなど）のリモコンが受信機側で使用できます。(詳しくは ⇒**2** ページの「2 送信機を設置する」をご覧ください。)

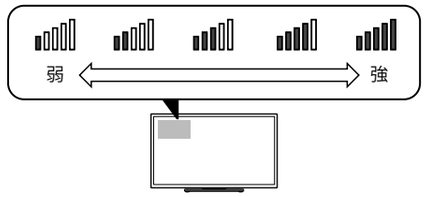
◆ AQUOS のリモコンを使いたいときは

- ファミリンクに対応した AQUOS レコーダーを送信機に接続しているときは、AQUOS のリモコンで操作ができます（詳しくは AQUOS の取扱説明書をご覧ください)。なお、送信機の HDMI OUT 端子に接続しているテレビはファミリンク操作ができません。

◆ 受信信号の状態を調べたいときは

- 付属のリモコンの画面表示ボタンを押すと、受信機の受信状態を表示できます。
- 受信強度は５段階で表示されます。

画面表示のイラストはイメージです。



◆ 受信状態が悪くなり、映像が乱れる場合は

- 付属のリモコンの無線チャンネル切換ボタンを３秒以上長押しして、他の無線チャンネルに切り換えることができます。
- 無線チャンネル切換ボタンを押すと、一度無線接続が切れ、空いている無線チャンネルを自動的に探して接続します。
- 無線チャンネル切換ボタンを押してから、再び映像が出るまで最大２分程度かかります。

◆ リモコンで受信機・送信機の電源を切るときは

- 付属のリモコンを受信機のリモコン受光部に向けて電源ボタンを押すと、受信機が待機中になり、続いて送信機も待機中になります。

◆ 本体の ⏻（電源）ボタンで受信機・送信機の電源を切るときは

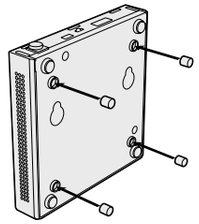
- 受信機・送信機の電源を OFF にしたいときは、受信機・送信機それぞれの ⏻（電源）ボタンを押します。

お知らせ

- シャープ製レコーダーを接続し、ファミリンク録画を行うときは、送信機側と受信機側の電源を入れた状態でご使用ください。電源切（待機状態）では、ファミリンク録画がはたらきません。

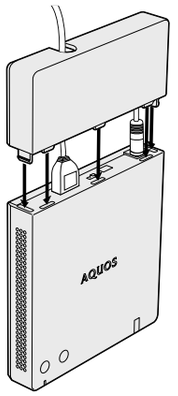
受信機を壁掛けで使う場合は

1 **付属のゴム足を、受信機底面に取り付ける**

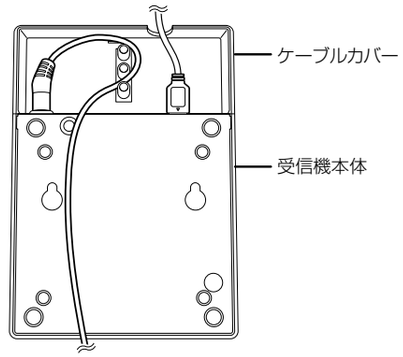


2 **付属のケーブルカバーを、受信機背面に取り付ける**

- ケーブルカバーはケーブルを接続した後に取り付けてください。

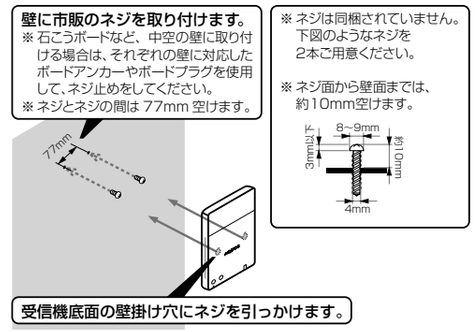


- ケーブルカバーを取り付けた後、AC アダプターのケーブルはイラストのようにしてください。



3 **市販のネジを使って、受信機を壁に取り付ける**

- 以下のようにネジを取り付けてください。



修理を依頼されるときは　出張修理

●「故障かな？と思ったら」を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず AC アダプターを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

補修用性能部品の保有期間

●当社は、ワイヤレス伝送ユニットの補修用性能部品を、製品の製造打切後 8 年保有しています。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

使い方や修理のご相談

ご相談の前に「故障かな?と思ったら」をご確認ください。

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626　FAX：043 - 297 - 2696

〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

受付時間　●月曜～土曜:9:00～20:00　●日曜・祝日:9:00～17:00（年末年始を除く）

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2012.02)

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

TINSJ2194YAPZ
12P02-JA-NK

仕様

仕様

使用周波数帯域	5.17GHz～5.71GHz
接続端子	HDMI（送信機側：入力 1 系統、出力 1 系統 / 受信機側：出力 1 系統） IR CONTROL（送信機側：1 系統）
外形寸法	送信機：幅 170 mm ×奥行 170 mm ×高さ 36 mm 受信機：幅 120 mm ×奥行 170 mm ×高さ 23 mm（ケーブルカバー取付時） 幅 120 mm ×奥行 123 mm ×高さ 23 mm（ケーブルカバー取外し時、端子飛び出しあり）
本体質量	送信機：約 560g 受信機：約 250g 約 290g（ケーブルカバー取付時）
消費電力	送信機：10W（※ 1）/ 9W（※ 2）（電源オフ時 0.5W（※ 1）） 受信機：8W（※ 1）/ 7W（※ 2）（待機電力 0.5W（※ 1））
使用電源	DC12V
使用温度	0～40℃

※ 1　AC100V（50/60Hz）（AC アダプター）
※ 2　DC12V 駆動時

対応解像度

※ 3D 映像には対応しておりません。
1080p(24/60Hz)、720p(60Hz)、1080i(60Hz)、480p(60Hz)

対応オーディオ形式

※ 2channelPCM に対応しています。
※ DVD-Audio 形式、SACD 形式のオーディオには対応しておりません。

・HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。第三者が著作権を所有するソフトウェアコンポーネントにはフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントも含まれます。

ソースコードの入手方法

実行形式のソフトウェアコンポーネント配布の条件としてソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法および各ライセンスの確認方法については以下の WEB サイトをご覧ください。
(http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html
(シャープ GPL 情報公開サイト))

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示については別紙をご覧ください。

故障かな？と思ったら

? 映像も音声も出ない

▶本機に AC アダプター、接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
▶送信機と受信機の POWER（電源）ランプが緑色に点灯しているか確認してください。⇒ **1** ページ
▶送信機と受信機の接続設定（ペアリング）は正常に設定されているか確認してください。⇒ **3** ページ
▶テレビの入力切換は受信機を接続した外部端子にされているか確認してください。

? 映像や音声がときどき停止する、または映らなくなる

▶送信機の POWER（電源）ランプが緑になっていることを確認してください。⇒ **1** ページ
▶送信機と受信機が遠い場所に設置されていませんか。設置環境によっては電波が弱くなり、通信が途切れたり届かなくなってしまいます。
－近くに設置してみてください。
－送信機／受信機の向きや設置場所を変えてみてください。
▶他の無線機器を利用している場合、干渉している可能性があります。
－他の無線機器の電源を切って確認してみてください。
－無線チャンネルを切り換えて確認してみてください。⇒ **5** ページ
▶送信機／受信機側のテレビの電源を入れたり、入力切換をしたときに、映像が一時的に消える場合があります。
▶映像の解像度が変わるときに、映像が一時的に消える場合があります。

? 映像がぼやける（解像度が低い）

▶電波の状況や設置距離に応じて、表示する映像形式（圧縮率や解像度）を自動で調整するためです。
－送信機／受信機を近くに設置してみてください。
－送信機／受信機の向きや設置場所を変えてみてください。
▶電源を入れた直後は入力した解像度と異なる場合があります。

? 音が出ない

▶テレビや映像再生機器の音量設定が正常であるか確認してください。
▶ HDMI ケーブルを抜き差しして確認してみてください。
▶映像再生機器のオーディオ形式を、LPCM に変更してみてください。設定方法については、映像再生機器の取扱説明書をご覧ください。

? リモコンで映像再生機器の操作ができない

▶送信機、受信機の HDMI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
▶送信機の IR コントロールの位置や向きを調整してください。

※ それでも問題が解決しない場合は、つぎのことをお試しください。

▶AC アダプターを抜き、しばらくしてからもう一度つないで、送信機・受信機の電源を入れ直してみてください。
▶SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーション「Q&A 情報」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html